

第6回木曾三川流域自治体サミットが揖斐川町で開催

8月25日(木)と26日(金)に揖斐川町で第6回木曾三川流域自治体サミットが開催されました。

このサミットは、木曾三川流域44自治体の連携強化と水環境保全を目指しています。今回は、揖斐川町長や名古屋市長など26自治体の首長が出席し、「流域間の交流を通じた自然環境の継承」をテーマに、水環境や森林の保全に関わる各自治体の姿勢や取組みについて意見交換し、それぞれの地域への理解を深めるとともに、自団体の役割について再認識しました。

また首長らは、揖斐川歴史民俗資料館を視察し町の水運の歴史の説明を受けたり、徳山ダムの堤体内やダム湖の周辺環境を見学し、揖斐川最上流域の揖斐川町について見識を深めました。



▲サミットに参加した首長ら

第65回岐阜県消防操法大会
揖斐分団が出場

8月7日(日)、多治見市、星ヶ台運動公園駐車場で「消防感謝祭」第65回岐阜県消防操法大会が開催されました。

大会には、揖斐郡の代表として揖斐川町消防団揖斐分団が小型ポンプの部に出場し、敢闘賞を受賞しました。大会には県内の消防団から各地区の大会などで選ばれた29隊145人が出場。今年は5人一組の「小型ポンプ操法」で、的を倒すまでの時間や操作、規律の正確さを競いました。

応援に駆け付けた消防団員や家族らの声援を受けて、どの隊も訓練の成果を発揮し、レベルの高い操法を展開しました。



▲揖斐分団による力強い操法

災害から命を守る
揖斐川町総合防災訓練

8月28日(日)、大地震を想定した揖斐川町総合防災訓練が、揖斐小学校を主会場として行われました。

訓練は、静岡県駿河湾と紀伊半島南東沖をそれぞれ震源とする地震が連続で発生したことを想定したもので、町全域で約1万人が地域の集会場に避難するなど訓練に参加しました。

主会場では、電気・水・ガス・道路・通信などの関係機関による復旧訓練や、女性防火クラブや揖斐小学校少年消防クラブによる模擬消火器を使った初期消火訓練、赤十字奉仕団による炊き出し、災害救助犬による人命救助訓練、災害救援ボランティアによる負傷者搬送訓練、さまざまな訓練が行われ、地域が一体となって災害時の体制や連携を確認し、防災意識を高めました。



▲水の入った消火器を使った初期消火訓練

水道施設を美しく
清掃奉仕作業

8月18日(木)、揖斐川町内の水道工事店15社が、町内の水道施設の清掃奉仕作業を行いました。

毎年行われているこの奉仕作業、この日は三輪地内と上野地内にある配水池施設周辺の除草を行いました。

この日は汗ばむ陽気となりましたが、皆さんの協力で施設周辺は、美しくなりました。清掃奉仕活動に参加された皆さん、ありがとうございました。



▲配水池周辺の清掃をする皆さん

叙位（従六位）受章

平成28年5月16日（月）に亡くなられた安達範雄さん（胙永）が、叙位を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

■叙位（従六位）受章
安達範雄さん（胙永）



▲ご家族への伝達

安達さんは、昭和24年4月に藤橋中学校杉原分校の教諭として赴任された。その後、坂内小学校や大垣市内の小学校に勤務、西濃教育事務所や大垣市の社会教育主事等、小野小学校教頭、本巢中学校長を歴任され、大野町立北小学校長として定年退職されるまで、永きにわたって学校教育の充実に貢献されました。定年退職後は、揖斐川町中央公民館長、揖斐川町社会教育委員として、社会教育、生涯学習の振興・発展に多大な貢献をされました。これらの生前の功績が認められ、今回の叙位の受章となりました。多大な功績に対し敬意を表しますと共に、心からご冥福をお祈りします。

小学生県外研修派遣事業（北海道芽室町・高知県宿毛市）
～農業・漁業体験と県外の人々との交流～

8月19日（金）から23日（火）まで、町内の小学校6年生20人が県外派遣研修で北海道芽室町と高知県宿毛市を訪問しました。

児童らは、親元を離れて、現地の小学校との交流やそれぞれの土地の文化や産業に触れ、貴重な経験をしました。芽室町では、台風が近づいていますが、ホームステイ先農家の尽力もあり、トウモロコシの収穫など十勝平野の大規模な農業体験ができました。宿毛市では、「かご漁」を体験し、とれたての魚を自分でさばいて味わったり、シユノーケリングをしたりするなど、岐阜県にはない海を知りました。研修を終えた児童らは、自信に満ち溢れた目をして、体験や研修の成果について話しました。



▲出発前に意気込みを話す児童



▲宿毛市：引き揚げたカゴの魚を獲る



▲芽室町：広大な畑でのジャガイモ収穫

飛騨・美濃歌舞伎大会
いびがわ2016が開催

8月20日（土）、地域交流センター「はなもも」で、第24回飛騨・美濃歌舞伎大会いびがわ2016が開催されました。郡上市・瑞浪市・岐阜市・揖斐川町の5つの団体がけいこを重ねた舞台を披露しました。揖斐川町からは、いび祭り子ども歌舞伎保存会と鳳凰軸下町組が参加し、それぞれ「鏡山旧錦絵」「絵本太閤記十段目 尼ヶ崎閑居の場」を上演しました。きらびやかな衣裳をきた役者が見得をきると、会場からは拍手と歓声があがりました。

会場では各種バザーや、揖斐川町の歌舞伎や観光のPRも行われ、来場者は伝統芸能にふれながら1日を楽しみました。



▲熱演する子ども歌舞伎役者ら

お十七夜コンサート
月の光に照らされる灼熱の魂

8月17日(水)、谷汲山華嚴寺境内仁王門前で、「お十七夜コンサート」が開催されました。

参道の商店主らでつくる谷汲門前街並づくり委員会が、町や参道の賑わいを取り戻そうと始めたこのイベントは、今回で11回目を迎えました。

出演者は、和楽器奏者の凛花さんと邦楽ユニットのTRAYの皆さんです。凛花さんは、美しい音色の篠笛を披露。「浜辺の歌」や「愛燦燦」など夜の静けさに溶け込むような演奏でした。

かがり火がたかれ、1200年の歴史を持つ谷汲山華嚴寺の荘厳な雰囲気の中に浮かび上がる若者のシルエットは、楽しさやかっこよさを存分に表現しており、真夏の夜にふさわしい熱く力強い和太鼓が観客を魅了しました。



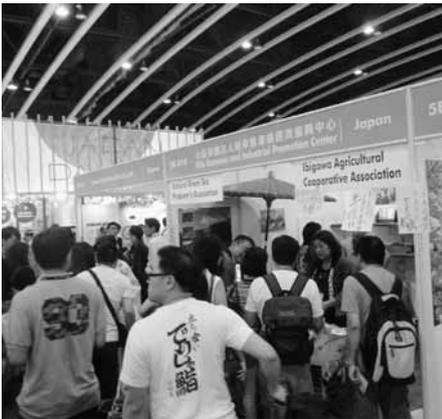
▲仁王門をバックに熱く力強い和太鼓

香港フードエキスポ出展
揖斐川町が応援

8月11日(木)から13日(土)に香港で行われたアジア最大級の食品見本市「Food Expo 2016」にいび川農業協同組合、桂茶生産組合が初出展し、美しいび茶の海外販路開拓をしました。

会場では、茶の試飲や、日本語、英語、中国語の3か国語で紹介するパンフレットでPRを行いました。美しいび茶は「飲みやすい」「どこの国の人の口にも合いそう」と好評で、美しいび茶ジェラートは「デザインに高級感がある」と海外バイヤーの関心を集めました。

また、出展ブースで揖斐川町の観光DVDを観た来場者から、「自然がすばらしい」「日本に行ったときにはぜひ、揖斐川町に行ってみよう」と話題になりました。



▲揖斐川町ブースに集まる来場者ら

関西茶品評会 普通煎茶の部
揖斐川町が産地賞3位

茶の出来栄を競う「第69回関西茶品評会」が8月3日(水)から5日(金)までの3日間、京都府宇治市で開催されました。そして、普通煎茶の部で、岐阜県内で唯一、桂茶生産組合が1等に2席、入賞を果たしました。

上位3点の合計点を市町村単位で競う産地賞でも揖斐川町が3位となりました。

品評会には岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、奈良の6府県の産地が普通煎茶、深蒸し煎茶など5茶種に出品、459点が審査されました。

表彰式は11月12日(土)に京都府宇治市で行われる第69回関西茶業振興大会で予定されています。



▲入賞したお茶を摘み取る皆さん

ミナレクキャラバン
施設訪問

8月25日(木)に、揖斐川町長良の西濃サンホームを、「ミナレクキャラバン隊」が訪問しました。

キャラバン隊は今年9月に開催された、全国レクリエーション大会in岐阜の啓発とレクリエーション普及のために結成され、県内の自治体や施設を訪問しています。

西濃サンホームでは、施設利用者として職員など約80人が、車いすやイスに座ったままで楽しめる、身体を使ったふれあい遊びに参加したり、音楽に合わせてミナモ体操やミナモダンスを行ったりし、レクリエーションを楽しみました。



▲ミナモと一緒に楽しくレクリエーション